

■本市のSDGs（持続可能な開発目標）の推進について

本市においては、SDGsの視点を取り入れ、17の国際目標と各施策を明確に関連付けた、「第2次加須市総合振興計画」が令和3年度からスタートしたことに加え、近年SDGsの市民・事業者の関心も高まっており、今後SDGs推進のステークホルダーとしての市の役割はより一層重要となっています。このことを踏まえ、今年度本市では次のとおり取組をスタートしました。

① 部門計画等へのSDGsの位置づけを明確にする方針を決定

・部門計画中の施策に17の目標が関連付けられる場合

各施策と17の目標の対応一覧（星取表）を作成 [報告 1 - 2](#)

・部門計画中の施策が少ない等、対応一覧（星取表）の作成が馴染まない場合

SDGsと計画の関連ページを設ける。

期待される効果：より一層SDGsを意識した事業推進。市民・事業者への周知

② 内閣府地方創生SDGs官民連携プラットフォームへ加入

（令和3年5月28日申請。令和3年6月2日承認）

・普及促進活動（イベント情報の発信・受信を通じた情報共有）

・会員間の課題解決策のノウハウを集積したデータベースの活用

・分科会への参加によるSDGsの知識・会員共有課題の検討

期待される効果：他の会員のアイデアやノウハウを得ることで、市にマッチする手法をピックアップし、取組に繋げることができる。

③ 広報かぞ8月号への掲載 [報告 1 - 3](#)

市民・事業者への取組周知

期待される効果：身近に取り組めるSDGsにつながる行動を紹介することで、一人ひとりがSDGsを身近に感じ、国際社会の一員であることを認識してもらう。

④ 民間企業との連携の検討

産・学・官連携推進事業と連携した取組

期待される効果：民間の発想を取り入れた、新たなアイデアの収集。専門知識を持った民間企業の職員によるセミナー等の共催

■今後の展開

各課の事業等について、SDGsの推進につながる、上記④の民間活力の活用・連携について検討をしていきます。